

井原市公共交通会議（令和 6 年度第 3 回）議事録

と き 令和 6 年 8 月 27 日（火）

11：00～12：15

ところ 井原市地場産業振興センター

5 階 大会議室

1. 開 会

会議の成立を報告

・ 出席者 委員 25 名中 21 名（内代理出席 2 名）

委員退任の報告：鳥越委員（美星地区）

2. 大舌会長あいさつ

3. 協 議

令和 6 年度井原市の公共交通に関するアンケート調査（案）について

・ 事務局より資料 1、2、付属資料について説明

（会長） 令和 6 年度井原市の公共交通に関するアンケート調査（案）について意見・質問等はないか。

（委員） アンケートの抽出方法について、13 公民館区で無作為抽出とあるが、地区の人口に比例して配布されるのか。

年齢について、何歳代という表記をやめて表記を統一した方が良いと思う。買い物先について、以前、商品券の事業を行った際に利用の多かったコスモスやザグザグなどの店舗が選択肢にないため、実態と結果が異なる恐れがある。実態を踏まえて、選択肢に店舗を追加してほしい。

問 27 の設問について、運賃等の個人の負担を増やしてでも公共交通を維持すべきという選択肢を入れる考えもある。設問では市の支出に対して公共交通の充実や維持を聞いているが、受益者負担に対しての選択肢も入れてはどうか。

（事務局） 抽出方法については、ご発言のとおり各地区の人口比を加味し、5,000 世帯で小さい井原市というような人口構成となるような形を想定している。

年齢については、ご指摘の通り修正したい。

買い物先の選択肢については、再度買い物先の状況を確認して反映したい。

問 27 の選択肢等、前回調査との比較のため内容を前回から変えていない項目もある。受益者負担に対する選択肢も含め、本日いただいた提案をどのような形で反映できるか検討したい。

（委員） 井原地区調査票、芳井・美星地区調査票があるが、自分が住んでいる地区に関係ない設問も回答しなければならないのか。

- (事務局) 井原地区の方には、井原地区調査票と記載がある「予約型乗合タクシー」に関する設問が含まれた調査票と「予約型乗合タクシー」に関する附属資料を送付する。同様に芳井・美星地区の方には、芳井・美星地区調査票と記載がある「あいあいカー」に関する設問が含まれた調査票と「あいあいカー」の附属資料を送付する。そのため、ご自身がお住いの地区外を対象とした設問は回答しないで済むようになっている。
- (委員) 井原地区に住んでいる人が芳井・美星地区に行く際の交通手段等を聞いてはどうか。井原地区の予約型乗合タクシーは対象の地域や行ける範囲が限られており、それらに関係する設問も加えてほしい。
- また、緊急時にどのような交通手段を使っているか把握してはどうか。
- (事務局) 井原地区から芳井・美星地区への移動について、現在は路線バスが対応しており、路線バスに関する設問等で実態を把握する予定である。また、今回の調査では井原地区の予約型乗合タクシーに関する設問を設けており、具体的な評価等を把握したいと考えている。
- 緊急時の移動手段については、手段別に設けている公共交通利用に関する設問等で把握していきたい。
- (委員) この会議で議論する公共交通とは、複数人で乗り合って移動するものが基本であり、そのような移動手段では緊急時・非常事態の対応は難しいと思われる。一方で日常的に行きたい場所があるが行けない等、井原市の公共交通でニーズをカバーできているのかアンケートで聞く必要がある。サービスを提供している時間帯の調整や路線の延伸等で対応できるのであれば、次の計画の中で対応する必要があるかもしれない。今提供しているサービスが本当に適切かどうか聞くことが重要である。
- (会長) 様々な意見が出ているが、井原市内全体の公共交通網がわかる資料があれば回答がしやすいのではないかな。
- (委員) 問 13 の市内バスのサービスについて、交通事業者としては具体的な改善策や要望等を把握したいので、満足度を 5 段階で回答するだけでなく自由意見のような解答欄を設けてもらいたい。
- (事務局) 解答欄の追加を検討したい。
- (委員) あいあいカーが本格導入されたが、前回と同じく無作為抽出とするのか。最寄りのバス停について、知っているものとして記載してあるが、わからない・知らないという項目を追加してはどうか。
- (事務局) 市全体のアンケートとしての信頼度を担保するために、前回と同様に無作為抽出で実施したい。
- 最寄りのバス停については、ご指摘を踏まえて修正を検討したい。
- (委員) 問 5 (6) 買い物のために家を出る時間と家に帰る時間について、その時々によって異なると思うので「一番多い時間帯」等の補足が必要だと思った。
- 問 7 (1) 通院の頻度について、「月に 1～2 回」と「年に数回」の間に「2～3 ヶ月に 1 回」という項目を追加してはどうか。

- (事務局) 問 5 (6) の聞き方については、ご指摘を踏まえて聞き方を検討したい。
- 問 7 (1) 通院の頻度についても前回調査との比較もあるので、検討してできる範囲で追加できたらと思う。
- (委員) 問 13 の市内バスのサービスに関する設問について、バスを利用していない人は回答しづらいが利用していない人も回答するのか。
- (事務局) 問 13 の市内バスのサービスについては、利用していない人の評価も重要であるため、利用の有無に関わらず質問する形をとり、聞き方などを工夫したい。
- (委員) 回答者が混乱しないように分岐のある設問は誘導を設ける等、工夫してもらいたい。
- これだけの規模でアンケートをする自治体はおらず、内容は充実している。アンケートの回収率は下がるかもしれないが、しっかりとした調査を実施して次期計画に繋げてもらいたい。意見でもあったドラッグストアへの移動等、現在の状況も反映しつつ、外出率や健康寿命等のポイントを押さえて、外出の妨げになっていること等を検証できるようなアンケート調査を検討してもらいたい。
- (会長) 本日の意見を基にして今後はどのようにアンケート調査票の作成を進めていくのか。
- (事務局) アンケート調査票の修正については事務局に一任させてもらいたい。
- (会長) 委員の皆さんにアンケート調査票の修正版を示してほしい。
- (事務局) アンケート調査票の修正版については、委員の皆さんに送付して意見等があれば事務局にお寄せいただく方法とし、その後配布の準備を進めたい。
- (委員) アンケートの回答が集まらないと困ると思うので、お知らせくん等で促すことはできないか。回答を忘れる人もいると思う。
- (会長) 回収率を上げるための工夫を事務局で検討してもらいたい。
- (委員) 5,000 世帯への配布と規模の大きいアンケート調査だが、統計的には想定している回収率 (30%) であれば十分な信頼度が得られると思われる。

【協議事項承認】

4. 閉会

- (副会長) アンケート調査票については、委員の皆さんは事前に確認した上で、意見交換ができたため有意義な会議になったと感じている。気がついた点があれば事務局に報告・連絡をお願いしたい。

以上